令和7年度 浜田市立第三中学校 学校経営方針

校訓

勉学・正義・至誠

【学校教育目標】

自ら学び 仲間や地域とともに よりよい未来を創造する生徒の育成

【めざす学校像】

- 生徒が夢と希望を持ち、躍動する学校【**生徒にとって魅力ある学校**】
- 保護者・地域からの信頼・支援される学校【**保護者・地域にとって魅力ある学校**】
- 職員が職務に誇りを持ち、職務遂行する学校【**職員にとって魅力ある学校**】

【めざす生徒像】

- 善悪を判断し行動する力を培い、よりよい自分の姿を追い求める生徒
- 自信を持ち、主体的に自分の思いを表現し行動する生徒
- 友だち、先生、保護者、地域の人々の思いや願いを受け止め、感謝の気持ちを持ち、協働する生徒

【めざす職員像】

- 人権感覚を磨き続ける職員
- 「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」のある授業をめざし、学び続ける教師
- 生徒理解に努め、生徒のよさを認め成長を支える職員
- 温かい人間関係をつくり組織人として協働する職員

学校経営の基本方針

人権教育をすべての教育活動の基底に据え、生徒、保護者・地域の方、職員にとって「魅力ある学校」づくりを推進する

(1) 授業づくりと集団づくりを通して、生徒にとって「魅力ある学校」づくりを推進する。

- 主体的、対話的で深い学びの視点から、魅力的な授業づくり ●「多様性と寛容性」を大切にした絆づくり、居場所づくり
- 一人一人の個性が発揮され、自己有用感を感じることのできる学年・学級経営や特別活動の充実

(2) 保護者・地域の方にとって「協力したい」「応援したい」と感じる「魅力ある学校」づくりを推進する。

- 学校運営協議会で熟議し、一緒に子どもを育むための協働 ●積極的な情報発信と服務規律の確保
- 育成したい資質・能力を共有し、人的・物的資源を活用した連携・協働の取組の充実

(3) 職員の個性や主体性、多様性が生かされる同僚性のある職員にとって「魅力ある学校」づくりを推進する。

- 尊重し協力しあう職員集団としての組織体制の構築 ●一人一人の資質・能力と組織力の向上にむけた体制の構築
- 職場環境の改善や働き方改革の推進と職員の心身の健康の保持

指導の重点

1「その教科を好きといえる」授業づくり【知】

- 学び合いやまとめと振り返りの充実を図り、自他の考えや良さを認め合い学ぶ意義の自覚を高めます。
- “量の確保”と“問との出会い”を工夫した授業改善に努め、基礎学力の定着に努めます。
- AIの活用など家庭学習に向けた取り組みを進め、学習の習慣化を図り、確かな学力の育成をめざします。

2 「自分も他の人も大切にできる心」の育成【徳】

- 日々の生活の中で人権・同和教育を進めます。
- 同和教育をはじめとする様々な人権問題に関する学習や人権集会を通して確かな人権感覚を高めます。
- 道徳教育の充実を図り、他人の気持ちを考えることができ、お互いを尊重し合える生徒を育てます。
- 思いや学びが響き合い、集団の自尊感情を高めます。

3「健やかな心身」の育成【体】

- 病気やけが、歯と口の健康に関することや、性に関する正しい知識を身につけられるよう健康教育を推進します。
- 食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができるよう、食に関する指導の充実に努めます。
- 適切な睡眠時間を確保し、メディアとの付き合い方を考え、生徒自らタイムマネジメントをする力を高めることができるよう努めます。

4 「地域とともにある」学校づくり【家庭・地域】

- コミュニティ・スクールの良さを生かし体験活動や協働活動を推進し、地域と力をあわせ、地域に貢献する心を育み、自己有用感を高めます。
- 地域の自然・文化・伝統・産業や人の温かさを感じることができる「ふるさと教育」の充実に努めます。
- 学校の様子や生徒のよさを把握できるように家庭との連携を丁寧に行い、学校公開の機会を設け、学校だより、ホームページを通して情報発信に努めます。

◎年間を通して力点を共通に置くもの

- ・基本的な生活習慣と学習習慣の確立
- ・掃除の徹底(30年目の校舎を磨く)
- ・生徒会活動の充実(生徒・教師が創造する活動)
- ・地域貢献意欲を高める(総合的な学習の時間に貫く学習目標)

○多様性と寛容性を大切にし、生徒の自己有用感を高める仕掛けや積極的な声掛けを行う。